

市之川公民館だより 令和7年1月号 (No.613号)

〒793-0037 西条市市之川6678-1 市之川地区人口「11月末現在」

Tel・Fax (0897) 56-3300 人口 8人(男3人・女5人)

eメール ichinokawa-k@saijo-city.jp 世帯数 6世帯

※ 西条市市之川公民館だよりで検索するとカラー版がご覧になれます。

1月 睦月（むつき）

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新春を迎えられたことと、お慶び申し上げます。

皆様のご健康とご活躍を願い、本年がより素敵な一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

公民館の花
12月19日撮影



《1月の行事予定》

日	曜	行事・時刻・場所
1	水	祝 元日
11	土	からおけ会 10:00～ 集会室
13	月	祝 成人の日
25	土	からおけ会 10:00～ 集会室

12月19日初雪が降りました。
冬本番です。



トイレの北側

飯岡公民館
にて撮影



※ 飯岡総合文化祭に参加【12月1日（日）】

今回の飯岡総合文化祭は西条市社会協議会市之川支部と合同で参加。鉱物に興味をもって頂くことを目的にミニ鉱物展ほか『ジオードクラッキング（水晶ジオード割り）』を行いました。ジオードを62個用意しておりましたが、文化祭が終わる頃には全てが売り切れ。行列ができるほど好評でした。また、西条高校商業科【輝安KOU房】から活動写真やグッズを預かり、市之川公民館のコーナーに展示させて頂きました。



開会式



西条高校商業科【輝安KOU房】



受付



ミニ鉱物展



ジオードクラッキング



飯岡小学校グラウンドにて
太鼓台3台による担比ベ



※ 資源地質学会の巡検

11月18日（月）資源地質学会から15名の来館がありました。



※ 健康医療推進課による年に一度の健康チェック

11月29日（金）市之川公民館では健康医療推進課等の職員3名と合同で、3世帯を訪問しました。皆さま方からいろんな話を聞かせて頂き、楽しい時間を過ごすことができました。来年度もお会いすることを楽しみにしております。



※ 玄武洞ミュージアムを訪問しました

11月21日（木）兵庫県の出石町、玄武洞ミュージアムへ日帰りで行ってきました。



養父市から豊岡市（出石町）へ向かう道でスノーボールを見かけました。積雪時等にドライバーを適切に誘導する施設であり、除雪作業の目印として活用されているようです。



午前4時に西条出発。午前8時過ぎに出石町へ到着しました。駐車場一番乗りです。



『出石城』1604年、小出吉英によって築城された平山城。出石は「但馬の小京都」とも呼ばれています。

出石町を後に、『玄武洞』へ。12時過ぎに到着。



「玄武岩」命名の地

玄武洞の名は、六角形の石の形から亀と蛇を合わせた姿の中国の神獣「玄武」にちなみ命名され、さらに、その玄武洞の名は「玄武岩」の岩石名の由来にもなりました。（玄武洞ミュージアムのパンフレットから引用）



13時。玄武洞ミュージアム。田中館長をはじめ皆さまが温かく迎えて下さりました。また、写真撮影や公民館だよりへの掲載に際し、許可を頂き、心より感謝を申し上げます。

9月12日（木）玄武洞ミュージアムの学芸員さんが市之川公民館へ来られた際に、お渡しした輝安鉱。展示されていました。これには驚きました。展示して頂けるならもっと立派なものをお渡ししたら良かったと後悔しています。

理事長兼館長の田中さん

90歳を超えてるそうです。田中館長は市之川鉱山産の輝安鉱は日本を代表する鉱物と言っておりまして。市之川産の輝安鉱に日の丸が添えられています。



ハリネズミのような輝安鉱。中国産です。

玄武洞ミュージアムを後にして、帰途につきました。日本海側にある豊岡市。この場所にも輝安鉱が展示されています。改めて輝安鉱の素晴らしさを肌で感じた一日となりました。

中国産の輝安鉱。この大きさには驚きました。

2024年12月10日

～毎月10日は人権を考える日～

機会はみんなに均等に（進路保障）

公正な採用選考をめざして

教育を受ける権利は日本国憲法や教育基本法によって保障されています。戦後、新しい制度の下に民主主義教育が始まりましたが、義務教育でありながら、経済的な理由により子どもたちの就学の機会や進路が保障されないことがありました。今日の義務教育での教科書無償化は、高知県ではじまった運動によって実現しました。

採用選考の際に使われている統一応募用紙は、憲法が保障する「職業選択の自由」を実現する取組の中で生まれました。昭和40年代まで、多くの会社や事業所では、従業員の採用の際には独自の応募用紙を使用していました。そこには、応募する個人の資質や能力とは全く関係のない項目が多数あり、経済的に困窮している家庭の子どもや親のいない子どもの就職の機会も奪ってきました。このような就職差別を解消することを目指し、統一応募用紙が作られました。教科書無償化や統一応募用紙制定の取組は、全ての子どもたちの幸せの実現のために大きく寄与しています。

就職差別につながるおそれがある14事項

本人に責任のない事項の把握

- ①本籍・出生地に関する事
- ②家族に関する事
- ③住宅状況に関する事
- ④生活環境・家庭環境などに関する事

採用選考の方法

- ⑫身元調査などの実施
- ⑬本人の適性・能力に関係ない事項を含んだ応募書類の使用
- ⑭合理的・客観的に必要性が認められない採用選考時の健康診断の実施

本来自由であるべき事項（思想・信条にかかわること）の把握

- ⑤宗教に関する事
- ⑥支持政党に関する事
- ⑦人生観・生活信条などに関する事
- ⑧尊敬する人物に関する事
- ⑨思想に関する事
- ⑩労働組合（加入状況や活動歴など）、学生運動などの社会運動に関する事
- ⑪購読新聞・雑誌・愛読書などに関する事

過去に様々な就職差別が起きていた状況を背景に、「差別的項目を排除した、統一応募用紙を作成しよう」との動きが1970年頃に近畿地方の各高等学校で起こります。その結果、1971年「近畿統一応募用紙」が策定され、1973年には「全国統一応募用紙」、さらには市販の履歴書についても、その後、日本工業規格（JIS）の履歴書が大きく見直されました。「全国統一応募用紙」が見直された同年に全国高等学校校長協会が定めた「全国高等学校統一応募用紙」を使用するように労働省と文部省より通達が出され、現在は、国（厚生労働省、文部科学省）の啓発指導の取組などにより、「統一応募用紙」「JIS履歴書」は広く普及しています。さらに、厚生労働省（ハローワーク）では「公正採用選考人権啓発推進員」制度を定め、企業に対し、公正な採用選考システムの確立を図ることを求めている。現在、多くの企業が公正採用選考人権啓発推進員を置いています。西条市人権教育協議会では、ハローワーク西条と共催で公正採用選考人権啓発推進員を対象とした人権・同和教育研修会を開催しています。

西条市人権教育協議会

西条市人権擁護課

※ 西条市社会福祉協議会市之川支部から



11月19日（火）にチューリップやヒアシンスの球根を植えました。数日後、チューリップの球根が何者かに食い荒らされていました。館長に就任して6年目。初めての事です。